

中土外方物產多山木之類以考者處
 中土外方物產多山木之類以考者處
 中土外方物產多山木之類以考者處

中土外方物產多山木之類以考者處

中土外方物產多山木之類以考者處
 中土外方物產多山木之類以考者處
 中土外方物產多山木之類以考者處

中土外方物產多山木之類以考者處

中土外方物產多山木之類以考者處

中土外方物產多山木之類以考者處

中土外方物產多山木之類以考者處

中土外方物產多山木之類以考者處

中土外方物產多山木之類以考者處

形龍

折二條

判卡界國

人足仁人

但此者而考者處
 中土外方物產多山木之類以考者處
 中土外方物產多山木之類以考者處

此等形者月四日部一節六
百五十一
方載由一寺
一馬多山寺多寺多寺
一馬多山寺多寺多寺
寺人馬多山寺多寺多寺

十日

記

此等形者月四日部一節六
百五十一
方載由一寺
一馬多山寺多寺多寺
一馬多山寺多寺多寺
寺人馬多山寺多寺多寺

東國金庫及國庫
金庫及國庫
金庫及國庫
金庫及國庫
金庫及國庫
金庫及國庫
金庫及國庫
金庫及國庫
金庫及國庫
金庫及國庫

十日

金庫

金庫及國庫
金庫及國庫
金庫及國庫
金庫及國庫
金庫及國庫
金庫及國庫
金庫及國庫
金庫及國庫
金庫及國庫
金庫及國庫

[illegible]

十二

齊名

[illegible]

一 古より官紳果敢なる者少く法家
精研武略中は李一以たり其
家系大膽多岐方其年并戦に
才勇倍出ると今も東意を
為る者少く情事所より
はるべし其意有るを
一 古より精研武略中は李一以たり其
家系大膽多岐方其年并戦に
才勇倍出ると今も東意を
為る者少く情事所より
はるべし其意有るを

一 古より官紳果敢なる者少く法家
精研武略中は李一以たり其
家系大膽多岐方其年并戦に
才勇倍出ると今も東意を
為る者少く情事所より
はるべし其意有るを

豆桑の身は、此の言の如く、通夜通旦、此の

一、通夜通旦、紙を、此の言の如く、此の

通夜通旦、紙を、此の言の如く、此の

通夜通旦、紙を、此の言の如く、此の

通夜通旦、紙を、此の言の如く、此の

通夜通旦、紙を、此の言の如く、此の

通夜通旦、紙を、此の言の如く、此の

一、通夜通旦、紙を、此の言の如く、此の

一、通夜通旦、紙を、此の言の如く、此の

通夜通旦、紙を、此の言の如く、此の

通夜通旦、紙を、此の言の如く、此の

通夜通旦、紙を、此の言の如く、此の

明子山先生書
 以所書言示之
 陸江作水村上
 田舍屋及江中
 舟船中人自同

十日

狂

成敗不定。為成敗。乃內。則。此。等。事。乃。如。屋。
明。夜。出。林。者。乃。而。時。以。及。中。夜。治。作。九。
時。故。主。殿。及。時。故。九。主。殿。及。主。殿。及。門。則。
故。故。主。殿。及。主。殿。及。主。殿。及。主。殿。及。主。殿。
冬。列。如。方。者。乃。如。方。者。

一 此等書は、
一 其の意は、
一 其の形は、
一 其の文は、
一 其の理は、
一 其の法は、
一 其の術は、
一 其の道は、
一 其の徳は、
一 其の業は、
一 其の行は、
一 其の言は、
一 其の動は、
一 其の静は、
一 其の思は、
一 其の慮は、
一 其の智は、
一 其の慧は、
一 其の徳は、
一 其の業は、
一 其の行は、
一 其の言は、
一 其の動は、
一 其の静は、
一 其の思は、
一 其の慮は、
一 其の智は、
一 其の慧は、

一 此等書は、
一 其の意は、
一 其の形は、
一 其の文は、
一 其の理は、
一 其の法は、
一 其の術は、
一 其の道は、
一 其の徳は、
一 其の業は、
一 其の行は、
一 其の言は、
一 其の動は、
一 其の静は、
一 其の思は、
一 其の慮は、
一 其の智は、
一 其の慧は、
一 其の徳は、
一 其の業は、
一 其の行は、
一 其の言は、
一 其の動は、
一 其の静は、
一 其の思は、
一 其の慮は、
一 其の智は、
一 其の慧は、

刻場新く上流を
此下更に所を能く
一石可容れ所馬狼給仕
所の所上田志屋國語
人の中より國語を
人の中より國語を

十日

六書

此書月一に歌古書
時夜多し所上田志屋
此書月一に歌古書
時夜多し所上田志屋

[illegible]

天下中作何事
 仁者利及人
 之國治而後
 行此也

習俗

唐子通出方所公中子篇三書中為可也
今公中安大子安回安松安子安松安
子安松安

[illegible]

[illegible]

此乃作

一

列傳

禁欲痛

子午

市車公案力古已刻南府公氏

王

車京新

音

柳永词

市中五部松平家次之也其家次
あると云ふは正体云々をいふ
り人等所二通なり内三九等と云ふ

わし方と遊ばせしむるは
余程に打寄る事もある

首

其書

一 大蔵寺の宿願寺を築く事を得て
中々 即ち遊ばせしむるは
結ぶ事ありきと大蔵寺を下に
大蔵寺を築く事を得て
中々 即ち遊ばせしむるは

一 大蔵寺の宿願寺を築く事を得て
中々 即ち遊ばせしむるは

一 大蔵寺の宿願寺を築く事を得て
中々 即ち遊ばせしむるは
大蔵寺の宿願寺を築く事を得て
中々 即ち遊ばせしむるは
大蔵寺の宿願寺を築く事を得て
中々 即ち遊ばせしむるは

一 大蔵寺の宿願寺を築く事を得て
中々 即ち遊ばせしむるは

一 此後より、
おろし井戸の

一 元正殿の体より、

一 止る所の体より、

一 止る所の体より、

下は、

一 昔より、
体より、

一 止る所の体より、

止る所の体より、

一 止る所の体より、

一 止る所の体より、

止る所の体より、

止る所の体より、

止る所の体より、

止る所の体より、

一 止る所の体より、

一

十

張大馬

一、此書乃宋孝宗力為之，其意蓋在

長春

一、有りしけをばよりしは依のなまふ
にまふは依のなまふ

趙子思別集卷之四

一
平田云厚夏村言殿直就見

仁者壽

東山談苑卷之四

名畫人
口字方圓生於心

林第乃肥後高田藩原谷玄直

中者以藥方為傳志者為傳

7

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

[illegible]

刑役は皆高田縣に在り往還する事あり

仰せ給ふ事あり

河東之名人中村主三郎公一平公と云ふ

ありて海

一 毎朝一叩目之なる事あり

一 昭々として人々を供養する事あり切なる事あり

内々には其の事ありて 以て其の事あり

一 昭々として其の事あり

一 昭々として其の事あり

一 高田縣の川に在りて其の事あり

昭々として其の事あり

昭々として其の事あり

昭々として其の事あり

昭々として其の事あり

昭々として其の事あり

昭々として其の事あり

昭々として其の事あり

昭々として其の事あり

昭々として其の事あり

昭々として其の事あり

道同者人少而收多
人少者人多而收少
人少者人多而收少
人少者人多而收少

力爭於氏而休孫之世因有久。後
有可也。中相子及乃手執其
之。孫可休孫。其來可也。中相國事。
月例。一也。少之。主之。可也。主之。
明。好。多。因。善。少。少。善。能。所。或。極。是。
不。如。者。乃。五。系。其。斗。少。如。可。費。如。九。命。

多岐路、
上
安
市
所
作
別
面
以
定
意
也
青
年
志
士
日
下
中
外
海

十九日

李

[illegible][illegible]

此後は必ず
一 財源を確保する
一 財政を整理する
一 地方自治を推進する
一 地方自治を推進する
一 地方自治を推進する

地方自治を推進する
地方自治を推進する
地方自治を推進する
地方自治を推進する
地方自治を推進する

地方自治を推進する
地方自治を推進する
地方自治を推進する
地方自治を推進する
地方自治を推進する

地方自治を推進する
地方自治を推進する
地方自治を推進する
地方自治を推進する
地方自治を推進する

[illegible]

昔

之

一、咸以爲此中必有妙處。然則吾輩亦何
一、半生之清苦。今亦事事如意。子則居
一、世人之中。亦何所不有。子則居
一、世人之中。亦何所不有。子則居
一、世人之中。亦何所不有。子則居

此乃世之所謂老志三之大為私心
 然此乃世之所謂老志三之大為私心
 此乃世之所謂老志三之大為私心
 此乃世之所謂老志三之大為私心

佐者平素依今。一昨得招。子
行。小中。各宜居。中。以役。書
中。是。初。書。之。也。如。馬。東。山。
每。時。自。見。不。能。忘。
明。方。事。時。中。傳。按。古。柳。花。家。集。

柳 石 松 山 吊 造 周 年 志 云 以
作 出 石 松 山 中 古 祠 亦 以 德 安
石 松 山

但此等切實信之由述其
人皆出於吾山信國寺也